相模

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

祭事暦

５月１日・20日午前８時30分
月次祭
５月５日　国府祭
午前８時00分　社頭発輿
正　　午　古式座問答　神揃山
午後３時40分　神対面の儀　大矢場
午後７時30分　社頭還幸

鎮守の森

当神社では青少年育成活動を積極的に行っている。その活動の展開の一つに少年館があり、地元の小学生を放課後預かり、学校では学べない事を中心に体験をしてもらっている▼この四月、今年も多くの子供達が新しく少年館に入館した。その子供達が初めて参加する行事が「入館式」。そこで新入館生が少年館に於いて最初に聞く曲が《国歌　君が代》続いて《少年館の歌》だ。もちろん初めて聞く曲なので歌えないが、後部席に参列している在館生はとても大きな声でこれを歌う。新入館生はその声の大きさに驚いて振り返るほどである▼少年館の音楽講座では、楽譜はもちろん渡すが使う事は殆ど無い。先生がひとつのフレーズを歌った後に続いて歌わせるというのを繰り返し、一曲を大体一時間程で完成させていく。声が小さければ「もう一回やってみよう！」と繰り返す。覚えることが主な目的ではあるが、お腹から大きな声を出すという目的もある▼お腹から声を出すことで、表情が豊かになったり、自分の意見を話せるようになったりと、様々な相乗効果が得られると考えられるからである。また、大きな声を出せるという事は非常時においても役に立つ。助けを呼ぶ場合、小さな声では周りの人々に気付いてもらえない事も多い▼「礼儀正しい元気な子どもに育ってほしい」という少年館の願いのもとで、大きな声で明るく挨拶が出来る・言いたい事をはっきりと相手に伝えられる・自分が間違っていたら素直に謝れるという、人として大切な事を今後も教え伝えていきたいと思う▼「お腹から大きな声を出す」ことが必ず役に立つということを信じて、これからも音楽を通して指導していきたい。

（大山みなみ）

遷宮で　結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

年参講大祭斎行

～奉納演芸大会賑う～

四月七日・八日の両日に亘り、年参講大祭が斎行されました。

この祭典は町内の氏子を始め講社団体の方々が日頃の御神恩に感謝し、地域の安泰と無病息災を祈願するもので、八日には疫病の流行を防ぐ衛生祈祷祭も併せて執行されました。

▲ カラオケ大会出場の皆様

また、総代や氏子有志による奉納演芸大会が、桜の咲き誇る境内で賑やかに開催され、カラオケ大会や民謡・舞踊等が披露され、長閑かな春の日差しに誘われ参拝に訪れた大勢の方々より大きな拍手を頂いておりました。

▲ 舞踊を披露する皆様

被災神社直接支援義捐金

❖ 金華山黄金山神社へお届けする

当神社では東日本大震災後、被災地を始め、被災神社の復興を支援する活動を展開しておりますが、去る四月二十三日より二十四日にかけて三度目の被災地視察を行いました。

その折、宮城県石巻市に鎮座する金華山黄金山神社に訪問し、正月より四月二十二日迄に参拝者の方々より頂いた義捐金にイベント商組合、宮山神輿愛好会、寒川神社の志を併せ、復興支援金として直接届けさせて頂きました。

ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

▲ 黄金山神社の皆様と

❖ 絵画奉納される

職工奉仕会会員長嶋喜満様より絵画が奉納されました。

この絵は、現代日本美術展コンクールで受賞し、数多くの個展を開催した上田臥牛氏が舞楽「蘭陵王」を描いたもので五十号の大きさがあります。

絵画は奉納当日、御神前に奉告された後、客殿一階に掲げられ、展示されております。

▲ 客殿に飾られた絵画

神嶽山神苑

❖ 全世界に向けて発信

今年七月、御本殿裏に広がる神嶽山神苑が、NHKワールド（テレビ国際放送）にて約一三〇の国と地域で放映紹介されます。

この番組は、当神苑の設計者である枡野俊明先生の造園の作法と造詣を通じ、日本の美はどこから来るのかを読み解くのが主題となっており、古今の庭園や先生の作品を解説し辿りながら味わって行くシーンで紹介される予定となっております。

▲ 宮司と枡野先生インタビューシーン

五月五日

国府祭御神幸時間のお知らせ

この祭典は「こうのまち」とも呼ばれ、大磯町国府本郷の神揃山に相模国一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮の神々が神輿にて参集し、古式「座問答」が行われます。その後大矢場にて神対面の儀・国司奉幣の儀が行われます。

神幸時間表

五月五日（土）

七：〇〇　諸員参集
七：二〇　遷霊祭
七：五〇　発輿祭
八：〇〇　社頭発輿
九：〇〇　平塚通過
一〇：三〇　神揃山祭
一二：〇〇　古式「座問答」
一三：五〇　神揃山発輿祭
一四：〇〇　神揃山発輿
一五：〇〇　大矢場着御
一五：四〇　神対面の儀
一五：五〇　国司奉幣の儀
一六：〇〇　大矢場発輿
一九：三〇　社頭還幸

▼神対面の儀

▲発輿祭

▲座問答

境内整備事業

「太鼓橋改築」工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十四年三月奉賛者】（順不同・敬称略）

十万円　利岡光一郎　石川県金沢市
五万円　松川　中　東京都台東区
二万円　濵田　直人　藤沢市江の島
一万円　㈲エス　エー　シー　横浜市中区
〃　芹沢　眞義　静岡県御殿場市
〃　木戸　京子　東京都世田谷区
〃　杉山　文子　東京都世田谷区
〃　工藤　隆　千葉県茂原市
〃　髙森　達雄　横浜市港南区
〃　内山　裕章　埼玉県児玉郡
〃　津田　康夫　横須賀市船越町
〃　松岡　幹雄　東京都台東区
〃　松岡寿恵美　東京都台東区
〃　東野　富司　千葉県船橋市
〃　鹿野島健二　茅ヶ崎市本村
〃　塩釜　洋彦　東京都練馬区
〃　道野　光二　藤沢市辻堂東海岸

相模國式内社の会
❖式内社巡拝会実施

相模國式内社の会では、去る三月二十九日に恒例の式内社巡拝会を行いました。

今回は静岡県焼津市に鎮座する焼津神社を正式参拝、参加された方々は、鈴木宮司様がおっしゃった、「地域の方の信仰の篤さ」の話に深く同調し、熱心に聞き入り、質問されておりました。

その後、元老西園寺公の別荘「坐漁荘」を見学し、無事散会致しました。

❖浦安の舞講習会開催

神社音楽協会の先﨑径子先生をお招きし、浦安の舞講習会を開催致しました。

浦安の舞は「天地の　神にぞ祈る　朝なぎの　海のごとくに　波たたぬ世を」という昭和天皇の御製を基に創られた神楽舞で、受講生は、御製にあるよう世界中に平和が訪れ永く続く事を願い、より御神慮に叶う舞が奉奏できるよう熱心に受講しておりました。

第四十二回 学齢児図画展 開催

今年も町内の小学校に目出度く入学する子供たちを対象に、学齢児図画展が開催されました。

廻廊には、寒川さくら幼稚園、倉見幼稚園、一之宮相和幼稚園の園児一五〇名が、楽しかった幼稚園での思い出を、個性豊かに描いた作品が、華かに展示されました。

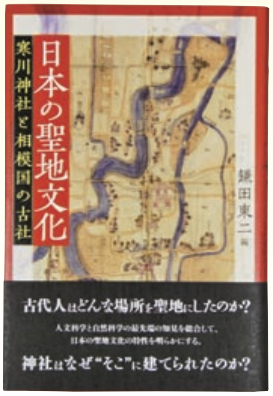
入学にあたり、子供達の健やかなる成長を心よりお祈り申し上げます。

『日本の聖地文化』
―寒川神社と相模国の古社―
出版される

京都大学こころの未来研究センター教授、鎌田東二先生が編纂された『日本の聖地文化―寒川神社と相模国の古社―』が創元社より出版されました。

この本は、自然科学と人文諸学を結合させ、相模国の生態智文化を明らかにし、古代人は何処を聖地とし神社を建立したかを説いています。

全国の書店にて販売されておりますので、興味がおありの方は是非ともご購入下さい。



水無月大祓

【みなづきおおはらへ】

大祓式

六月三十日[土]午後二時斎行

茅の輪神事に参加しましょう

茅の輪をくぐることにより身についた罪穢を祓い清め清浄な状態に戻ることを願う神事であります

あら大なる息吹(いぶき)をいただいて

❖第六十二回 観桜駅伝競走大会開催

寒川の春の風物詩である「観桜駅伝競走大会」が四月八日に開催されました。

去年は震災の影響により大会が中止となってしまいましたが、今年は盛大に開催され、町内外から六十九チームが参加、開花が遅れていた参道の桜もこの日を待ち侘びていたか、と思う程に満開となり、駆け抜ける選手達を応援しているように感じられました。

結果は、日頃の練習の成果を余す事無く発揮した、〝風が強く吹いてる?〟チームと〝松林中学校A〟チームが、見事一之宮賞（第二部・第三部優勝）に輝き、その栄誉が称えられました。

寒川俳壇 年間最優秀句決定
―一之宮賞を授与―

当神社社報「相模」に毎月四季折々の俳句を献じて頂いております寒川俳壇の年次総会が去る三月三十日に開催され、その席上本年度の優秀句が発表されました。

最優秀句には、根岸君子氏の亡き背の君の事を深く詠んだ句が選ばれ、当神社より一之宮賞が授与されました。

一之宮賞（年間最優秀句）

墨の香の　残る句帳や
竹葉忌
根岸　君子

茅ヶ崎・寒川 春の短歌大会開催

茅ヶ崎・寒川短歌会による、春の短歌大会が、四月七日に開催されました。

数多くの作品の中より、茅ヶ崎市在住の白石悦子氏の歌が一之宮賞に選出され、賞状及び賞品が授与されました。

＜一之宮賞受賞作品＞

パパだけが
張りきっていて
キティちゃんの
ピンクの絵の凧
ぐんぐん揚がる
白石　悦子

平成24年
5月27日(日)

神前結婚式ご案内会

午前10時～午後４時

◆衣裳美容体験　10：00～
＜記念写真プレゼント＞
◆挙式セミナー　11：00～
◆奉告の儀　11：20～
＜記念写真プレゼント＞
◆模擬挙式　12：00～
◆披露宴セミナー　12：40～
◆各種相談コーナー　随時
◆カラーコーディネート　随時
◆人力車乗車体験　随時
☆レストラン「青葉」での食事券付き！

40th 寒川神社 参集殿

40周年謝恩企画

その１
会食券プレゼント
“１万円又は５千円券”を
抽選でプレゼント

その２
お部屋料金半額
宴席(食事)ご利用の方に限り部屋料を
半額サービスさせて頂きます

寒川神社 参集殿　ご予約・お問い合わせは　0467-75-5555

❖青少年活動だより

寒川神社少年館
―新入館生を迎えて―

少年館では本年三十七名の新入館生を迎え、四月一日（日）、学校の入学式に先立ち入館奉告祭と入館式が執り行われました。

境内の桜もまだ咲かぬ少し肌寒い日ではありましたが、子供たちは元気に参列し、緊張と不安と希望と期待といろいろ交錯する中、館長先生より記念品を頂きました。講師先生方の自己紹介ではあどけない笑顔を見せるなど少し安心したようでした。また、新入館生代表の挨拶では、大きな声で元気に挨拶が出来、今後が楽しみでもあります。

本年度は新入館生を合わせ一〇八名の子供たちが少年館で学ぶことになり、講師・指導員も改めて心を引き締め取り組む所であります。

本殿前で記念写真

▲ 新入館生挨拶

BS寒川第二団
―カブ隊 社会見学―

四月二十二日、カブ隊は社会見学を実施。

箱根町を訪れ、「箱根寄木細工」を体験すべく コースターづくりに挑戦。

午後は、小田原にある生命の星・地球博物館を見学。

日本人の繊細な、美意識から生まれた寄木細工の技への尊敬と、地球と生き物へ対する謎と不思議さが増した一日となりました。

ボーイ隊　春季キャンプ

四月二十日から二十二日にかけて、藤沢市葛原に鎮座する皇子大神の境内を使わせて頂き、実施しました。

この春季キャンプは野営の基本となるドームテント、A型テントの設営撤営、薪による炊事等を確実に時間通りに行うことを目的とし、また夏の長期キャンプの訓練として毎年行っています。昨年秋にカブ隊から上進したスカウトにとっては初めての本格的なキャンプでとまどいを見せていましたが、先輩スカウトたちによる指導もあり、怪我無く無事予定通りにプログラムをこなすことができました。

ボーイスカウト寒川第２団
もちつき・バザー大会開催

＜とき＞５月３日㈭　９時～14時
※雨天順延（翌日）
＜ところ＞寒川神社　馬場

スカウト募集中

あったか！　つきたて！
あんこ・きなこ・からみ・大福・よもぎ餅販売致します。
～つき手飛び入り大歓迎～

カブスカウト体験入隊コーナー開設
※同日10時～12時

寒川病院だより

☎0467(75)6680　寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com

４月から診療表が変更になりました。

寒川病院	診療表		月	火	水	木	金	土
内　科	午前	１診	栗田啓司	武村文夫	栗田啓司	早苗　努	栗田啓司	武村文夫 1,3,5週 鳴海裕之 2,4週
		２診	早苗　努			鳴海裕之	円谷斉子	渡辺　卓 1,3,5週 栗田啓司 2,4週
		３診	渡辺　卓					
	午後		武村文夫	鳴海裕之	武村文夫	渡辺　卓	円谷斉子	
神経内科	午前							高木繁治 2,4週
	午後			栗田啓司				
呼吸器内科	午前				西谷憲三			
	午後			端山直樹 1,2,3,5週				
リウマチ科	午後				内山光昭			
糖尿病内科	午前			丸山真弓	丸山真弓	安田　敦	丸山真弓	
	午後					安田　敦	宮武　範	
循環器内科	午前			干場泰成				神田茂孝
	午後			原田　厚 4週	早苗　努			
外　科	午前	１診	木勢佳史	原　正	徳田裕(乳腺)	原　正	田中　豊	原　正 1,3,5週 木勢佳史 2,4週
		２診	劉　孟娟(乳腺)		石田秀樹	岡村卓穂(乳腺)	劉　孟娟	劉　孟娟
	午後	１診	原　正	鍋島一仁	15時30分まで担当医	岡村卓穂(乳腺)	木勢佳史	
		２診		15時30分まで 劉　孟娟(乳腺)				
脳神経外科	午後						富永二郎	
皮　膚　科	午後			馬渕智生	小島知子	鈴村多美		
泌尿器科	午前			花井一也				
整形外科	午前	１診	内田雅夫	赤塚正洋	赤塚正洋	金　俊男	岡崎　敦 1,3,5週 竹元　暁 2,4週	八十田貴久 1,3,5週 赤塚正洋 2,4週
		２診	八十田貴久	八十田貴久	内田雅夫	八十田貴久	八十田貴久	江口英人 1週 国府秀俊 2,3,4,5週
	午後		赤塚正洋	山森寛之	赤塚正洋	金　俊男	岡崎　敦 1,3週 竹元　暁 2,4,5週	
眼　科	午前		木勢由利子	木勢由利子	早川賢治	保科真理	木勢由利子	及川哲平 1週 木勢由利子 2,4週 松尾祐樹 3週 休診5週
	午後		木勢由利子	中川喜博	早川賢治	鈴木崇弘	松尾祐樹	
耳鼻咽喉科	午前		大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	播摩谷　敦	大上麻由里
	午後		大上麻由里	山本　光	大上麻由里	大上麻由里	関根基樹	
内視鏡	午前		原　正	鳴海裕之	渡辺　卓		木勢佳史	鳴海裕之 1週 渡辺　卓 2週 木勢佳史 3週 原　正 4週
	午後		木勢佳史	原　正	渡辺　卓		鳴海裕之	

人事

平成二十四年四月三十日

◆退職
＜寒川病院＞
看護助手　金井眞由美
規則に依り定年退職とする

◆新採用
＜寒川病院＞
看護師　島村　睦子
視能訓練士　佐内　彩香
寒川病院勤務を命ずる
平成二十四年五月一日

神嶽山神苑　五月の行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏

◇五月六日(日)・二十日(日)
　午前十一時と午後二時
◇五月十三日(日)・二十七日(日)
　午後二時のみ
◇雨天中止
◇場所　神苑内石舞台において
　一回約三十分間の奉奏

※入苑券を持参の上ご来苑下さい

医療講演会のご案内

と　き　５月29日(火)
　　午後２時～３時

ところ　寒川神社 参集殿

内　容　「健診結果の見方・考え方」

講　師　健康管理科 医長
　　車田　知之

入場無料　申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467－75－6680
寒　川　病　院

多川俳壇

それとなく上下のありて花むしろ　金指　月光
野遊びの車座にある茹玉子　相原　白蕗
月の夜の月より白き花辛夷　飛石　槿花
野遊びや飴玉ひとつずつ分けて　市本　益子
病床に花のたよりを聞く夜かな　四ッ車梢月
野遊びや連れは昭和の顔ばかり　芹沢　徳光
車座に犬も家族や花の宴　金子　つぢ
父さんを夢中にさせるしやぼん玉　宮入　つる
一片の花が貼り付く校歌の碑　根岸　君子
山門のほかには無くて山桜　岩田美代子
目薬をさすも日課の花粉症　伊藤　公一
鳥帰る遠くに見ゆる電波塔　菅沼うめの
リハビリの遠き眼差し春の山　露木てる子
骨折れし傘の残骸春嵐　竹村真砂美
妻と見る咲き始めたる梨の花　皆川志んご
狛犬の大きな耳へ囀れり　山本　朝子
駄菓子屋に並んで来てる春休み　千葉　静香
花冷のきしむ廻廊巡りけり　菅沼　保幸
目久尻の水音やさし菜花かな　原野　楽天
花の昼園児の声のなだれこみ　松本美智子
屁理屈をならべる少年花冷えす　倉谷　節子
手のひらに並べ土産とつくしんぼ　三輪　恭子

五月　手水舎奉掲

二宮尊徳翁

おのが子を　恵む心を　のりとせば
学ばずとても　道にいたらん

相模詠草

公園の桜並木の枝々に冬の陽遊びけぶりて見ゆる　安藤　慧
ひこう機雲西に向かって伸びゆけり夕陽に染まる消え残る雲　川島惠美子
一週間の嫁の入院息子の手料理感謝しおいしくいただきました　吉田マツ子
いくとせか楽しく過ぎし野ばら会胸にたたみて暖めて行く　天利　春枝
母われの煮ものがうまいといふ言葉身の内深くあたためくれる　堀江　照子
入場料一円四十銭の映画忠臣蔵横浜で見き女子青年の時　宇田川時子
甥子がタイより妻つれ帰国する　全員集り酒酌み交す　土屋トミ子
掛軸の書は吾のもの若き日の努力のあとの筆のうごきよ　三留とく子
降る雪に覆われし梅よ凌ぎいし雪を撥ね除け逞しく咲け　濱田　寿子
病院の窓より見ゆる紅梅の父を見守る心和ます　山口　幸子
声高に話す声するバス停に老女が二人冬晴れの午後　山根喜美代
蛸足のような大根を今は亡き姑偲びつつ裂き乾しとする　亀山　文子
満開に咲きいるパンジー雪受けて冷たい風はいやよとゆれる　岡元　芳子
悲しみは悲しみとして澄みゆけり冬空深きに心を放つ　杉本　照世

表紙写真説明

五月五日、神々が集う神揃山で熱心にお願いをする子供

編集後記

五月病…新生活を始めて一ヶ月。一つ乗り越えなくてはならない壁である。

新人！お前は無限の可能性を秘めている。言われた事がつい昨日の様に思える

(宮)